



ぬでひこぬでひめじんじゃ

### ① 鐸比古鐸比売神社

祭神は鐸比古命、鐸比売命で式内社です。かつては高尾山の山頂に祀られていましたが、道が険しいので中世に現在の場所に遷されました。

昔に日照りが続き作物が枯れ、大変困ったとき雨乞い祈禱をしたところ、大雨が降り村人が喜んだという話が伝えられています。

天正5年（1577年）には織田信長の長男信忠が松永久秀を討つための拠点とし、信貴山城攻略の後、新地50石と石燈籠一対を寄進しました。

ぬでひこおおかみ

### ② 鐸比古大神

高尾山の山頂に「鐸比古大神」の小さな社があります。「高尾明神」と呼ばれることもあります。



わかやまとひこじんじゃ

### ④ 若倭彦神社

平野地区の産土神で建筒草履ならびに若倭彦命を祀る式内社です。

6世紀頃にこの地で繁栄した若倭部連がその祖先を祀ったものとされています。古事録には「貞観元年（859年）従五位下ヲ授ク」と記されています。

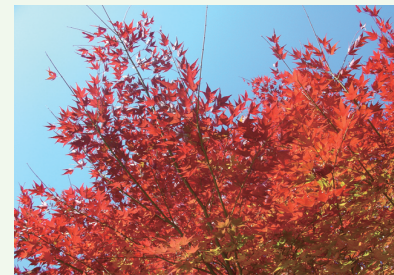
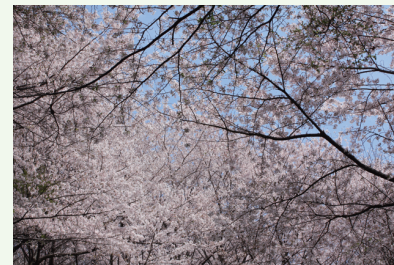


### ③ 高尾山創造の森

この森は、身近に地域の自然や歴史にふれあえる場所として未来に残そうと、60人の地元の土地所有者の方々と大阪府と柏原市が協力して整備された森です。森には多くの古墳が残されており、遠い昔から人々に深い関わりがあったことがうかがえます。四季折々の森の恵みに接し、いにしえへの思いをめぐらし、みどり豊かな未来を創造するシンボルとして愛されています。



展望台からの眺望。大阪平野が一望でき、条件が良ければ明石海峡大橋も見えます。



整備されたハイキングコースでは、春は桜、秋は紅葉、冬には水仙と、四季折々の自然の美しさを感じることができます。